

佐用町昆虫館周辺におけるキノカワハゴロモの記録

吉田 浩史・八木 剛

キノカワハゴロモ *Atracis formosana* Jacobi は半翅目アオバハゴロモ科に属する南方系の種である。従来国内では琉球列島に広く分布するとされてきたが、後に本州、九州からも記録されている (林, 1999)。

本州では林 (1999) による報告が初であり、1995 年に広島県三次市、1996 年に千葉県一宮町で採集された個体が記録されている。その後、山口県では 1970 年に採集されていたことが報告された (大木, 2001)。

それ以外に本州では、島根県 (尾原, 2001)、神奈川県 (坂本, 2010) からも記録された他、千葉県からは追加記録 (宮野・立川, 2009) が報告されている。

このように、キノカワハゴロモの本州における記録は中国地方西部と関東地方南部に限られており、兵庫県を含む近畿地方及び中部地方からの記録はなかったと思われる。宮野・立川 (2009) によると、インターネット上の情報では南大坂 (原文まま、大阪府南部と思われる) からの記録もあるとされているが、筆者は大阪府の記録を見つけることはできなかった。

今回、佐用町昆虫館周辺において本種の生息が確認されたので報告する。

宮野伸也・立川浩之, 2009. キノカワハゴロモを鴨川市で採集. 房総の昆虫, (43): 38.

尾原和夫, 2001. キノカワハゴロモの島根県内での記録. すかしば, (49): 56.

大木克行, 2001. 山口県におけるキノカワハゴロモとスカシハゴロモモドキの記録. Rostris, (50): 57-58.

坂本繁夫, 2010. キノカワハゴロモの横須賀市からの記録. 神奈川虫報, (170): 71-72.

(Hiroshi YOSHIDA 神戸市灘区)

(Tsuyoshi YAGI 兵庫県立人と自然の博物館)



1ex. (写真), 兵庫県佐用郡佐用町船越, 佐用町昆虫館周辺, Alt. 230m, 29. VII. 2010, 八木剛 採集.

筆者の一人、八木が昆虫館敷地内で採集したものであるが、詳細な状況は不明。その後館内に展示されていた標本を吉田が同定した。

本報告に当たり、宮武頼夫博士には文献についてご教示いただいた。初宿成彦氏、松本吏樹郎氏には文献閲覧の際にお世話になった。ここに厚くお礼申し上げる。

○参考文献

林正美, 1999. キノカワハゴロモの本州および九州からの記録. Rostris, (48): 38.